

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

11月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

本年開始の熊本県看護職キャリア支援事業に参加します

看護職キャリア支援事業は、地域医療拠点病院の看護職を主な対象として、熊本大学病院への院内教育研修受け入れ、双方の病院間による相互研修を通じた看護職のキャリアアップを支援し、地域間や看護分野・領域を超えた看護力底上げと連携強化、地域の医療提供体制確保を図ることを目的としています。

10月から熊本大学病院で研修を受講する田中千春さんの抱負を紹介します。

「今回、熊本県で初めての事業であるキャリア支援事業研修として熊本大学病院にて勤務、研修を行うこととなりました。入職し、外科病棟へ配属され病棟勤務・HCU・救急外来と勤務してきました。外科病棟は急性期病棟でもあり他科の急性期の患者さまを看護する機会も多く、様々な知識や技術を要すると思います。現在の病棟では、術前・術後の看護の大切さを痛感し大学病院では手術の症例も多いため、より多くの疾患に対する看護が学べると思い、新しい知識を養いスキルアップを図れる機会だと考え志願しました。この研修を通し知識を深め、より熟練した技術が身に付くよう学びを深めたいと思います。」

田中さんからの近況報告では、外科病棟に勤務し電子カルテ操作ややり方の違いに慣れるのにまだ時間がかかりますが夜勤も始まるので勉強を頑張っている。とのことでした。

次に熊本大学病院からの研修に就かれている黒木さんの抱負と近況報告を紹介します。



「この度、キャリア支援事業研修で熊本大学から参りました黒木竜二と申します。看護師年数は9年目となり、経験のある領域としましては泌尿器・歯科口腔外科・耳鼻科・手術室・膠原病内科での勤務をしてきました。熊本大学病院へ入職してから当病院での経験しかなかったため、他の病院で働いてみたい。という思いがあり、今回の研修に参加しました。実際に山鹿市民医療センターに勤務して看護カルテや使用している物品、事務処理、病院の実態などが全く異なり、戸惑いの連続でした。そんな右も左も分からない状態でしたが、病棟師長をはじめとしたスタッフのご支援の元、業務にも慣れ安全に業務を行えています。1年6ヶ月の研修期間になりますが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。」

お二人への研修支援とご協力を宜しく願いいたします。

(文責：看護部副看護部長 原田 靖代)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

熊本県看護職キャリア支援事業に参加 …… P 1  
 日本DMAT研修を受けて …… P 2  
 新しいCTの運用を開始しました …… P 2  
 医療最前線 …… P 3  
 外来担当医表 (11月) …… P 4

## 日本DMAT研修を受けて



外科医長

山村 謙介

山鹿市民医療センターは県内15カ所のうちの1つとして、災害拠点病院（災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院）に指定されており、災害派遣医療チーム（DMAT）を保有しています。

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとり略して「DMAT（ディーマツト）」と呼ばれています。災害・事故が起こった場合、都道府県からの要請を受けて被災地域に出動し、医療を提供するチームです。

当院はこのDMATを2チーム保有しており、医師、看護師、事務職員から構成されています。本来、医師は2人の体制でしたが前任者の異動に伴い1人欠員となりましたので、今回それを補充する形で私がDMAT隊員となるべく6月15日～18日までの4日間、兵庫県災害医療センター、三木総合防災公園で研修を受けてきました。

研修は座学・グループワーク・実習から構成されていますが、座学は研修に行くまでeラーニングという形で事前受講し、研修先では主にグループワーク・実習を行いました。8時30分から19時30分までのみっちりとしたスケジュールで、普段の日常診療では経験しない、災害医療特有の知識や技術、思考プロセスを全国から集まった医療従事者と共に学習することができました。災害という非常事態において、限られた物資を最大限活かして出来るだけ多くの人命を救命する難しさとやり甲斐を実感できました。また医療や医学そのものだけでなく、非常事態における指揮系統の確立や情報連携の重要性、チームビルディングなども学習することができました。

研修資料には実際に起こった災害や事故での、DMATの活動様子の写真が用いられていました。その中には2016年の熊本地震や2020年の球磨川豪雨水害時の活動も多く載せてありました。当時のDMAT隊員だけでなく、災害現場や病院などで活動されていたすべての人に感謝の気持ちがこみ上げてきました。

今回の研修を終えて私は厚生労働省管理下の日本DMAT登録隊員となりました。災害発生時には災害現場に駆けつけて人命救助を行うこととなります。加えて普段は自施設の災害対策にも力を入れていく予定です。

## 新しいCTの運用を開始しました

日頃より当センターCT・MRI共同利用の運用にご協力いただきましてありがとうございます。

当センターでは、9月末に地域医療の充実を図るべく、老朽化したCTを更新しました。今回導入されたCanon社製Aquilion ONEは、体軸方向に320列の検出器を有し、従来使用していた64列CTから大幅にグレードアップ致しました。

特長としまして、

①Deep Learning Reconstruction(AiCE)：AI技術の1

つである、Deep Learningを用いた画像再構成技術で、分解能を維持したままノイズを除去することができます。本技術により、高品質な画像を低線量かつ短時間で提供することが可能となりました。②低管電圧撮影：従来の120kVp撮影に加え、80kVpの選択が可能となりました。低管電圧を用いることで、造影剤のコントラストを増強することができ、腎機能が悪い方には、40%程度減量した造影剤で検査することができます。③金属アーチファクト抑制技術(SEMAR)：手術で金属を埋め込まれている患者さまの金属アーチファクトの低減が可能となりました。

Canon社製Aquilion ONEは、3次救急病院や大学病院等の特定機能病院でも広く使用され、安定した高画質に定評があります。今後も放射線科専門医により、翌日までに読影が可能な体制をとり、患者さまの状態、検査の目的に即した最良の検査と画像を提供し、迅速な診断に貢献できるよう一層努力して参ります。共同利用を更にご活用をいただけると幸いに存じます。

(文責：診療放射線技師 吉田 健一郎)



## 医療最前線 (143)



眼科医師

木山 優

## 新しい抗VEGF薬治療

はじめに、昨年4月より山鹿市民医療センター眼科に赴任いたしました木山優と申します。

眼科では平日午前外来診療、月曜午後手術、火曜午後硝子体注射、水木金曜午後小児眼科や視野検査等行っております。初診の患者さまは水木金曜の午前に来ていただいておりますが、緊急の場合は月曜火曜も対応いたしますので、ご相談ください。まだまだ未熟ですが、皆さまのお力になれるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

抗VEGF薬治療について、中途失明の原因ともなる滲出型加齢黄斑変性・糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞に伴う黄斑浮腫に対する治療として、抗VEGF治療薬が挙げられます。加齢や糖尿病、血管閉塞に伴い眼内が虚血に陥ると、血管内皮増殖因子(VEGF)が増加し、新生血管の増殖や血管からの漏出が起こり、黄斑浮腫を引き起こします。そこで抗VEGF治療薬を硝子体内に注射することで、新生血管の増殖や漏出を抑える効果があり、浮腫の改善につながります。現在当院では、アイリーア(アフリベルセプト)とルセンチス(ラニズマブ)が採用されており、治療を行っております。抗VEGF治療薬は非常に効果の高い治療ではありますが、薬価が高く、活動性の高い症例に関しては頻回な

注射が必要になる場合があり、患者さまへの経済的・身体的負担は大きくなってしまいます。

加齢黄斑変性に関しては熊本大学病院眼科と連携して診療を行っておりますが、大学病院では2020年5月に発売されたベオビュ(ブロシズマブ)も採用され、従来の治療では頻回な注射が必要であった加齢黄斑変性患者さまにおいて、注射間隔を延長する一助となっているようです。しかしながら、発売前より報告されていた注射後眼内炎の発生もあり、慎重な使用が求められております。また、今年3月には新しくバビースモ(ファリシズマブ)も発売し、従来の抗VEGF作用に加え、アンジオポエチン2を阻害し血管安定性を高める作用もあるそうです。4月にはルセンチスの薬価改定や、まだ適応疾患は少ないですが、さらに薬価の低いルセンチスの後続品も発売され、新しい注射薬による治療効果の飛躍と、患者さまの負担軽減につながるのではと期待しております。

また、黄斑浮腫は治療だけでなく予防も大切であり、糖尿病患者さまの血糖管理や定期的な眼科通院、加齢黄斑変性の予防につながる禁煙指導、網膜静脈閉塞予防のためには血圧コントロールが重要とされており、先生方にもご協力いただけますと幸いです。

最後になりましたが今後とも患者さまに最善の治療を提供できるよう励んでまいりますので、視力低下のある患者さま、糖尿病治療中の眼科未受診の患者さま等いらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。

## 第49回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座1単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名  
77. 骨粗鬆症

下記により第49回公開特別講演会を開催いたします。  
多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典  
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和4年11月11日(金) 19:00~  
形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)  
会場：オンライン参加 / Zoomミーティング  
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター  
演題：「運動器疾患の病態の理解と対策～脊椎疾患・骨粗鬆症を中心に～」  
司会：山鹿市民医療センター 院長 高木 茂 先生  
演者：熊本大学大学院 生命科学研究部  
感覚・運動医学分野  
整形外科学 教授 宮本 健史 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから御参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/91763140397>  
ミーティング ID : 917 6314 0397  
パスコード : 428529

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」を御入力ください。  
※快適に御視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットの御使用をお勧めいたします。

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター  
地域医療連携室 宮園、深水  
TEL : 0968-44-2185(内線769)  
FAX : 0968-44-0071

※共催：鹿本医師会  
山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

# 外来担当医表

## 11月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 山元雅典/中原達秀	工藤 智志 山元 雅典 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 山村 謙介
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	非常勤医師	—	*非常勤医師 神波 大己 教授 (第1・3・5)	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	坂田 和子 石河 隆敏	川崎 修二	堀 和樹	—	佐々木 剛

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。  
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。  
 ※ 非常勤医師です。 \* 第2、第4のみ診療となります。

# 特殊・専門外来

## 11月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医 宮本 英明	毎週 火曜・水曜 毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	11/1(火)、7月、8(火)、10(木)、14(月)、15(火)、21(月)、22(火)、24(木)、28(月)、29(火)	
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。  
 ◎急患の場合は、この限りではありません。  
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。  
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

**山鹿市民医療センター**  
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>